

いわてグラフ

特集1

若者と女性がもっと活躍するいわてへ

特集2 子どもたちに夢と希望、挑戦する意欲を!

ILC(国際リニアコライダー)が育てるグローバル人材

特別編

いわての子どもたちが
明るく暮らせる未来へ!

12

2024
December



表紙 いわてを支える仲間たち

いわて若者カフェ

カフェマスターの皆さん

撮影場所/いわて若者カフェ(盛岡市)

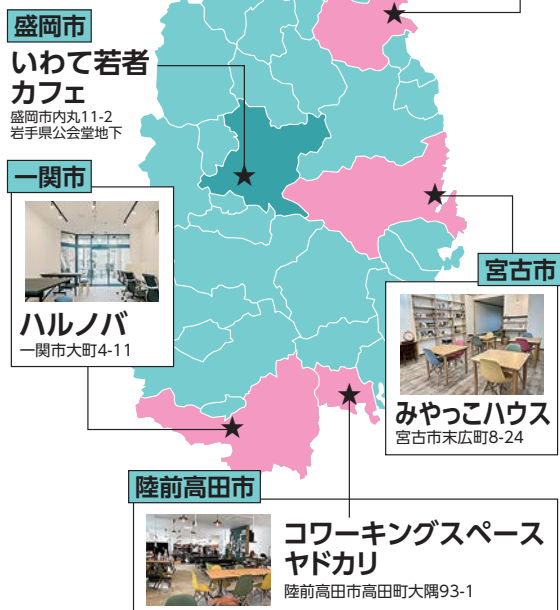
県内では、東日本大震災津波を契機としたボランティア活動や、地域課題の解決に向けたさまざまな活動に多くの若者が参画し、交流を深めています。県はこれから、こうした若者たちの積極的なチャレンジを全力で応援します。

若者の活躍を応援します!

仲間を作りたい
起業したい
地域課題を解決したい
ボランティア活動をしたい



いわて若者カフェ 連携拠点の紹介



県は、若者が地域の課題解決を目指して、自由な発想で考え、話し合い、行動につなげられるよう、地域で活躍する若者の交流の場として「いわてネクストジェネレーションフォーラム」を開催し、また、「いわて若者カフェ」を開設しています。

「いわて若者カフェ」は、若者同士の交流や情報発信、イベントなどの場として、「何かしたいけど迷っている」「活動のアドバイスがほしい」といった相談にカフェマスターが応じます。4カ所の連携拠点も設置し、県内全域で若者のチャレンジを応援する環境づくりを進めています。

県庁若者女性協働推進室
019-629-5337



詳細は
ホームページを
ご覧ください

いわて 若者カフェ&連携拠点

いわて 若者アイデア 実現補助

県は、地域の課題解決や元気創出に取り組む若者のチャレンジを支援することを目的に、独創的、先進的な事業の企画提案を募集しています。採択団体には、最大30万円の補助とカフェマスターの伴走による支援を行い、アイデアの実現を応援します。



補助金の詳細は
ホームページを
ご覧ください

事例1 おもえ風の子プロジェクト

海のみやこ おもえ漁師応援部

宮古市重茂の漁家民泊「海のみやこ」を活用して、県内外の若者に漁業研修の機会を創出。重茂の漁業の振興と、漁業後継者の育成に取り組んでいます。また、首都圏の大学生と共に広報用の冊子を作成。重茂の海と漁業の魅力を伝え、若者たちの交流を促進しています。



事例2 高校生未来創造プロジェクト

NPO法人YOUTH SDGs SIP

県南地域の高校生7人の任意団体から始まったNPO法人で、「SDGs講演会」や「子ども学びカフェ(無料塾)」を実施しています。若い世代がSDGsを学び実践する社会を目指すとともに、子どもたちに学びの場を提供することで、貧困による教育格差をなくすことに取り組みます。



その他の補助金 | 若者文化振興事業費補助金 若者が文化芸術イベントを県内で開催する費用に対して助成を行っています。



特集1

若者と女性がもっと活躍する いわてへ

県は、一人ひとりの幸福を守り育てるため、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりが尊重され、共に参画でき、幸福を追求できるいわての実現に取り組んでいます。県が実施した調査結果などによると、これまでの取り組みにより「女性が働きやすい環境にある」と感じる人が増加し「若者同士のネットワークづくりが推進されている」という成果が現れている一方で、依然として、「男性が優遇されている」と感じている人がいることから、



意識改革や慣行の見直しなどの取り組みを職場、学校、地域、家庭などあらゆる場で進めていく必要があります。今回は、県が実施している、若者のチャレンジを応援するための取り組み、そして、女性がいきいきと輝きながら活躍できる社会の実現に向けた取り組みを紹介します。

表紙



いわてを支える仲間たち

いわて若者カフェ カフェマスターの皆さん

若者同士の交流や、若者が主体となる活動を発信する場として、県が岩手県公会堂地下に開設している「いわて若者カフェ」。年間を通じてイベントを開催するほか、さまざまな分野で活躍する「カフェマスター」が、若者のチャレンジを応援しています。久慈市、宮古市、陸前高田市、一関市にも連携拠点を開設しています。

より詳しいお話を
サイトで公開中

いわてグラフ
専用サイト



CONTENTS

特集1

若者と女性がもっと 活躍するいわてへ ①

いわて県民計画PICK UP! ⑤

テーマは「自然環境」／人と森の未来をつなぐ森林づくり

復興、その先へ [大槌・釜石エリア] ⑥

特集2

子どもたちに夢と希望、挑戦する意欲を!

ILC(国際リニアコライダー)が 育てるグローバル人材 ⑦

このまちが好き [県北エリア] ⑨

いわて黄金のマリアージュ
ジュースで簡単カラフルピラフ

岩手県からのお知らせ ⑩

特別編

いわての子どもたちが 明るく暮らせる未来へ! ⑪

ナシテ? イワテ、ダガラ! イワテ

読者アンケート&プレゼント 表紙

県の「令和3年度いわて女性の活躍促進に関するアンケート調査」によると、回答した県内事業所の約9割が、女性の活躍を推進することにメリットがあるとしているものの、課題として「家事・育児・介護等の家庭の負担が重い」ことを挙げています。家事・育児などの無償労働時間が増えると、生活の質の低下や仕事との両立の難しさにつながります。夫婦・パートナーが共に家事・育児に主体的に関わり、互いに協力し合う意識を持つとともに、時短商品や便利家電、家事代行サービスの活用を検討するなど、自分たちなりの家事・育児の理想の形を話し合うことから始めてみませんか。

家事育児シェア大作戦！
を実施しています



いわて一斉!
家事育児
シェア
大作戦!



診断サイトは
こちら



「夫婦でさくっと シェア率診断」でシェア率が見える化できます。夫婦・パートナーと一緒に診断してみませんか。

県は、女性の活躍推進に積極的に取り組む県内の企業などを「いわて女性活躍企業等」として認定しています。認定段階により、融資制度の優遇を受けられるなどのメリットがあり、企業などの自主的な取り組みの促進を図っています。



2024年9月18日に開催した「いわて女性活躍認定企業等認定式」の様子

女性の活躍を
推進する企業が
増えています

いわて女性活躍企業等認定制度
シンボルマーク



ステップ1



ステップ2



暮らしのこと、仕事のこと、家族や友だちのことなど、あなたが抱えている悩みを、誰かに相談してみませんか。定例サロンも開催しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。→

●認定NPO法人インクルいわて（岩手県男女共同参画センター内）



女性の活躍を応援します!

いわて男女共同参画プランの基本目標は

性別にかかわらず、
一人ひとりが尊重され、
共に参画できる
社会の実現です。



少子高齢化・人口減少が進む中、社会全体で多様性を尊重する環境を作ることが必要とされています。県内でも、多くの女性が主体的に活動する一方で、自覚のない差別や偏見はいまだに残っており、職場、学校、地域、家庭などさまざまな場面で意識改革に取り組む必要があります。県は、女性が活躍できる社会を実現するための取り組みを進めています。

男女共同参画社会の実現は「意識の改革」から

みんなが幸せになる未来のために
アンコンシャス・バイアスに
気づくことから始めましょう

今、男女平等な社会になりつつあります。しかし、自覚のない差別や偏見はいまだに多くの人の無意識の中に根強く残っています。無意識の偏見のことを「アンコンシャス・バイアス」といい、世界ではこのことに気づき、意識を変えてきましたが、日本はとて遅れているのが現状です。職場や家庭の中でも「男性はこうすべき」「女性はこうあるべき」というアンコンシャス・バイアスに気づき、すべての人が自分らしくいきいきと輝けるように、一人ひとりが自分の中の意識の改革をしていくことが大切です。あなたの意識の中にアンコンシャス・バイアスはありませんか？

多様な個性を生かし合い、性別にかかわらず誰もが活躍できる社会と持続可能な未来のために「意識の改革」が求められています。

岩手県男女共同参画センター
センター長 山屋 理恵さん



性別による
アンコンシャス・バイアスの
イメージ

家事や育児は
女性がすべき

共働きでも
男性は仕事を
優先すべき

男性なら
残業や休日出勤を
するのは
当たり前

受付や
お茶出しなどは
女性の仕事

男性は
仕事をして家計を
支えるべき



決めつけていませんか?



復興、その先へ。

未来へつながる三陸

「より良い復興～4本の柱～」を軸として、着実に復興に取り組む三陸。
復興の今に触れ、「その先」へ進む三陸を訪れてみませんか。

4本の柱

安全の確保

暮らしの再建

なりわいの再生

未来のための伝承・発信



蓬萊島(大槌町)

大槌
釜石
エリア

体験する

①大槌ジビエツーリズムハンター直伝！解体体験



▲命ある生き物が、普段目にする肉になる過程を体験できます

▼NPO法人おおつちのあそびおおぼろさん大場理幹さん

◎NPO法人おおつちのあそび
090-1910-9236大槌鹿をまちの財産に
命の循環を体験する

「NPO法人おおつちのあそび」では、害獣として駆除されていた鹿をまちの財産にしようとして、県内初のジビエ加工会社「MOMMY株式会社」と連携してジビエツーリズムを実施しています。「ハンター直伝！解体体験」では、ハンターの指導のもと、鹿一頭を解体します。ハンターの体験談を聞きながら、解体した肉をBBQで味わう、命の循環を体験できるプログラムです。

学ぶ

②いのちをつなぐ未来館

◎いのちをつなぐ未来館
(うのすまい・トモス)
0193-271-5666震災への意識を伝える
防災への意識を深める

「うのすまい・トモス」内にある「いのちをつなぐ未来館」は、東日本大震災津波の出来事や教訓を伝え、災害から未来の命を守るための防災学習を推進する施設です。館内の展示のほか、「語り部」や「防災ワークショップ」などのプログラムを通じて、防災への意識を持ち、備えることの大切さを伝えています。「語り部」はオンラインでも行っています。

防災への意識や備えを伝えています

▲展示では震災当時の釜石での出来事を伝え、防災学習の取り組みを紹介
▲防災士でスタッフの川崎杏樹さん

立ち寄る

③釜石魚河岸にぎわい館「魚河岸テラス」



▲向こう側には釜石湾が広がっています

▲スタッフの佐々木和江さん



▲「ゼラート部」の甲子柿のゼラート

◎釜石魚河岸にぎわい館「魚河岸テラス」
0193-271-5666釜石湾が一望できる
海とまちをつなぐテラス

釜石中央ICから車で10分。魚市場のそばにある「魚河岸テラス」は、釜石臨海部周辺のにぎわい創出の拠点として「魚のまち釜石」を発信する施設です。2階では釜石湾を眺めながら食事をするのができ、1階では、貸しスペースとしての利用や、地域の特産品を生かしたゼラートを味わうことができます(ゼラートは14時から16時までの時間限定)。

一人ひとりの幸福を守り育てる「いわて県民計画(2019～2028)」

10の政策分野から今回は **自然環境** をPICK UP!

いわて 県民計画 PICK UP!

県は、かけがえのない豊かな森林環境を守り、次の世代に引き継いでいくために、「いわての森林づくり県民税」を活用して、地域住民やNPO団体などの活動をバックアップしています。

今回は、県民参加の森林づくりに取り組んでいるNPO団体を紹介します。

いわて県民計画について
もっと詳しく知りたい方は
こちらをチェック!

いわてグラフ専用サイト



山仕事ははじめの一步講座では、チェーンソーで安全に伐採できる技術や知識を学びます

人と森の未来をつなぐ森林づくり

「いわての森林づくり県民税は、県民共有の財産『森林』を、良好な状態で次の世代に引き継いでいくために、県民の皆さんが納めている税金です。県は、これを活用し、森林環境の保全活動をバックアップしています。

遠野市の「NPO法人遠野エコネット」では、森を手入れし、その間伐材を薪や炭・木工材料などに資源化する「遠野・薪の駅プロジェクト」に取り組んでいます。プロジェクトには、山仕事の講座や体験会、薪づくり、木工やツル細工、炭焼き体験、山歩きを楽しむ会など、森の

手入れにつながる6つのプログラムが用意され、薪ストーブ愛用者から森林ボランティアや山林での作業に興味がある人まで、性別を問わず幅広い年齢層が参加しています。

代表の千葉和さんは、「森林は自

DATA
NPO法人
遠野エコネット
0198-64-2250NPO法人
遠野エコネット
代表 千葉和さん

然災害とも密接に関係しており、洪水や土砂災害の発生を防ぐためにも間伐や植林などで手入れして育てていくことが大切です。また、化石燃料に頼らず薪を活用していくことで二酸化炭素の削減も期待できます。プロジェクトへの参加をきっかけに、皆さんに森のことをもっと知ってもらい、森林への関心が深まれば」と話します。

県民参加の森林づくり促進事業について

県は、森林を守り育てる活動や意識の醸成などを目的とした活動を公募・支援しています。森林づくりや担い手育成、森林環境学習など、皆さんの主体的なアイデアと参加をお待ちしています。2025年度の企画募集については公式ホームページでお知らせします。

公式ホームページ



県民税を活用した事業について

県は、「いわての森林づくり県民税」(個人の場合:年額1,000円、法人の場合:均等割額の10%相当)を活用し、さまざまな事業を実施しています。事業の情報は、公式SNS(X及びInstagram)で発信しています。

公式X(旧Twitter)



公式Instagram



いわての高校生 サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト



研究成果やその活用に関する
プレゼンテーションの様子

研究者から直接指導を
受ける様子



県は、科学に関する興味・関心を深めるため、高校生などが物理・化学・工学の研究・発表を行う「いわての高校生 サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト」を開催しています。このコンテストでは、ILC実現後の外国人研究者との交流を見据えて、国内の研究者による生徒へのアドバイスも行っています。研究者から直接アドバイスを受けることで、生徒の挑戦意欲が育まれる大きな機会となっています。

また、コンテストの優勝チームは、知事から表彰されるほか、副賞として「国内先端研究施設研修」が贈られます。

このほか、県内の小中学生に、ILCをきっかけに科学や地域の国際化について関心を持ってもらうことを目的に、「出前授業」も行っています。

子どもたちに夢と希望、挑戦する意欲を!

ILC(国際リニアコライダー)が 育てるグローバル人材

ILC(国際リニアコライダー)は人類の知的探求心に基づく壮大な国際プロジェクト。さまざまな分野で活躍できるグローバル人材の育成に大きく寄与します。



ILC
とは?

ILC(国際リニアコライダー:International Linear Collider)は、国際協力によって設計開発が推進されている次世代の直線型衝突加速器です。東北の北上山地が建設候補地とされ、誘致実現を目指しています。

ILC
で分かること

電子と陽電子を光速近くまで加速し正面衝突させ、それにより作られる素粒子を測定することで、宇宙誕生など謎の解明に挑むことができます。

「仲間が増えることで、機運が高まる」 We are "ILC Friends"!!

#ILCフレンズキャンペーン

県は、ILCでつながる仲間を増やすため「#ILCフレンズキャンペーン」を実施しています。SNSで「#ILCフレンズ」と共にILC実現に向けた応援メッセージを投稿してくれた方の中から、抽選でキャンペーンタイアップ商品をプレゼント!

- 実施期間/2025年2月7日(金)まで
- 参加媒体/X、FacebookおよびInstagram

キャンペーンリーダー
小島よしおさんによる
ILC解説動画はこちら!



「#ILCフレンズキャンペーン」
公式サイト

12/7(土)~12/27(金)
味付ゆでたまご(2個入り×6/パック) 30名様



12/28(土)~1/17(金)
磐乃井・純米大吟醸
ILC限定ラベル(720ml) 10名様



1/18(土)~2/7(金)
ILCフレンズコラボTシャツ
11名様

©#ILCフレンズキャンペーン運営事務局 ilcfriends@iwate-np.co.jp

商品
内容

教えて! 鈴木学長

ILCの誘致実現がどのような効果をもたらすのか、岩手県立大学の鈴木厚人学長にお答えいただきました。

Q ILCの実現によって、岩手はどう変わりますか

A ILCの実現によって、世界中から多くの研究者やその家族などが岩手に集まり、50年以上にも及ぶ共同研究や生活を行うことで、科学を通じて国際交流として「平和のシンボル」となります。最先端の研究やさまざまな世界地域の課題解決に取り組む新しい拠点が創出され、科学や技術開発はもちろん、地域や産業の振興、雇用創出、人材育成などあらゆる面でプラスの効果をもたらすことが期待されます。

Q ILCが岩手の子どもたちにもたらす影響とは

A 国内外のトップクラスの研究者と触れ合う機会が増え、最先端の研究を見て、聞いて、体験することで、子どもたちが夢と希望と誇りを持ってさまざまなことに挑戦する意欲を持つことになるでしょう。子どもたちの未来

には計り知れない可能性が広がると思います。

Q 岩手の子どもたちへのメッセージ

A ILCは、世界中の研究者が協働して研究に取り組んでいく、私たちの未来に向けて大きな可能性を秘めたグローバルプロジェクトです。岩手に住んでいる皆さんにとっても、さまざまなところで、いろいろな国の人と話し関わる機会が増え、世界が広がることでしょう。「自分もやってみよう」「関わってみたい」という興味や関心を大切にしながら、どんなことでもいいので何かが自分熱中できるものを見つけてみてください。そこから先、熱中できるものをどんどん突き詰めていくと、いずれは将来自分の進むべき道が見えてくるかもしれません。ILCは皆さんと未知の世界をつなぐ出発点です。ぜひ未来へのチャンスを広げてほしいと思います。



岩手県立大学 鈴木 厚人学長

岩手県からのお知らせ

お出かけ情報など、その他のお知らせは「いわてグラフ」専用サイトでチェック！



いわてグラフ専用サイト



ご存じですか？

新型コロナワクチン定期接種について

2024年10月から新型コロナワクチンの定期接種が開始されています。対象となるのは、65歳以上の方及び60～64歳の一定の基礎疾患をお持ちの方です。接種費用や接種可能な医療機関については、お住まいの市町村の広報誌やホームページをご確認ください。新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご確認ください。



▲厚生労働省
新型コロナワクチンについて

◎県庁医療政策室 019-629-5472

2023年度一般会計歳入歳出決算の概要をお知らせします

県に入ったお金を示す「歳入」の決算額は8,277億円で2022年度より710億円、7.9%減少しました。増減額が大きかったものは、国庫支出金(△442億円)、県債(△105億円)です。

県が使ったお金を示す「歳出」の決算額は7,764億円で2022年度より695億円、8.2%減少しました。増減額が大きかったものは、衛生費(△189億円)、土木費(△97億円)です。

詳細は、ホームページをご覧ください。

◎県庁出納局会計課
019-629-5987



雇用確保助成金の申請受付中

県は、沿岸12市町村に所在し、国の補助金事業などを活用中もしくは活用実績のある事業所が求職者を雇用した場合、1人当たり3年間で最大120万円を助成します。また、雇入れに先立って住宅支援制度の導入などを行った場合、年間最大240万円を助成します。詳細は、ホームページをご覧ください。

■申請期限／

2025年3月14日まで

◎県庁定住推進・雇用労働室
019-656-1571



募集しています

岩手県職員(都道府県等職務経験者)を募集しています

県は、都道府県または政令指定都市での職務経験を持つ即戦力となる人材を募集しています。募集職種は、一般事務、社会福祉、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木、建築、環境化学・食品衛生、獣医師、薬剤師、保健師で、職種ごとに若干名の採用を予定しています。応募は随時受け付け、書類審査と個別面接による選考を行います。詳細は、ホームページをご覧ください。

◎県庁人事課

019-629-5071



ご協力ください

三陸鉄道への募金にご協力ください

今年、開業40周年を迎えた三陸鉄道は、8月に発生した台風5号により、大きな被害を受けました。復旧には多くの費用が必要となることから、三陸鉄道では皆さまからの支援を募っています。いただいた寄付金は復旧のための費用や、復旧後の利用促進に活用させていただきます。皆さまのご協力のほど、よろしくお願い致します。詳細は、三陸鉄道ホームページをご覧ください。

◎県庁交通政策室

019-629-5206



▲三陸鉄道
ホームページ

放射線影響対策のお知らせ

県産食材などの放射性物質濃度検査

県や国は、県産農林水産物や流通食品などの放射性物質濃度を検査しています。2023年度の検査件数6,841件のうち、野生きのこなど6件及び野生鳥獣肉1件を除く6,834件(99.90%)については、国の定める基準値(一般食品:100ベクレル/kg)を超える放射性物質は検出されていません。検査の結果、基準値を超えた場合には、出荷制限、出荷自粛要請、販売者による自主回収などを行っています。

◎【農林水産物の検査】県庁農林水産企画室 019-629-5623
【流通食品の検査】県庁県民くらしの安全課 019-629-5322
【全般】県庁復興危機管理室 019-629-6924

県政テレビ番組

いわて! わんこ広報室

毎週放送中

■テレビ岩手 …… 月曜日 18:54~19:00 (再放送) 土曜日 21:54~22:00
■岩手めんこいテレビ 日曜日 8:55~ 9:00
※都合により放送時間に変更になることがあります。

ご意見・ご提言はこちら

手紙・はがき 〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課
電子メール koucho@pref.iwate.jp
電話 019-629-5110
受付時間 8:30~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
ファクシミリ 019-651-4865[24時間受付]

ホームページ・SNSで岩手の情報発信中！

県政情報、防災情報、
岩手の魅力情報を発信中
「岩手県広報広聴課X」



「岩手県公式LINE」



岩手県
ホームページ
岩手県



東日本大震災津波伝承館の
情報を発信中

「いわてTSUNAMIメモリアル」



4広域振興局がお届け！

この
好き
まじが
県北エリア

今回は、県北広域振興局
エリア在住の石賀大登
さんから地域の魅力をお
聞きます。

岩手県公式
観光サイト
いわての旅
「県北エリア」



いしがだいと
石賀大登さん

Profile

東京都足立区出身。久慈
琥珀博物館のスタッフ。琥珀
採掘体験や、化石発掘体験
のレクチャーに従事。「カセキ
くん」の愛称で呼ばれて
います。

ティラノサウルスになりきる石賀大登さん

体験メニューの案内の時は、恐竜の帽子をかぶっています

琥珀と恐竜の化石と一緒に眠る世界でもまれな大地!久慈

子どもの頃から恐竜が好きで、専門学校の時、発掘調査のために久慈に来ました。その時、初めての調査で獣脚類の歯の化石を発見!それ以来、何度も久慈に足を運ぶようになり、縁を感じて久慈琥珀株式会社に入社しました。主に琥珀採掘体験と化石発掘体験を担当。子どもたちからは「カセキくん」というニックネームで呼ばれています。久慈の魅力は琥珀と化石、それから星空。夜になると星がきれいに見えます。あまりにはっきり見えるので最近では恐竜の他に天体も勉強しています。久慈には白亜紀の地層が表出している場所があります。



採掘体験で見つかった琥珀(約80g)
子どもの手のひらぐらいの大きさ

す。そして、琥珀もたくさん採掘されています。天然の地層から琥珀と化石が見つかる場所は、世界中探しても、ここ久慈だけ。すごいことだと思います。

今も休日になると、ハンマーとたがね、ふるいを手に、発掘調査に出かけます。久慈で新種の恐竜の骨を見つけたいなあ!



5年前、石賀さんが発見した獣脚類「リカルドエステシア・ギルモレイ」の歯の化石

「わんこきょうだい」オリジナルグッズが当たる! このまちクイズ

クイズに正解した方の中から抽選で5名様にわんこきょうだいグッズをプレゼント!

Q 久慈で採掘される
樹脂の化石は?

こたえ ○○○
(ひらがなで)

応募締切
2025年
1月10日金

応募
フォーム

いわてグラフ専用サイト



いわて黄金のmariage マリージュ

食材の宝庫いわて。旬の岩手県産の食材に、
いわてのオリジナルの品をプラスして
簡単に美味しい一品料理を作ってみませんか。



レシピは
こちら!

いわてグラフ専用サイト

〔レシピ監修〕
野菜ソムリエ
上級プロ
おはら かおる
小原 薫さん



銀河のしずく

岩手県で開発されたオリジナルのお米。バランスの良い味わいが特徴です。



メルベジプラスジュース

盛岡の生産者キートスファームの赤と黄色のミニトマトのジュース。糖度が高く濃厚です。

ジュースで簡単
カラフルピラフ



材料を炊飯器に入れて炊くだけ。子どもも喜ぶ簡単ピラフです。



子どもが幸せに育つための取り組みを進めるためには、子どもたちが自身の声をしっかり聴くことが大事だね。そのため、県は、子どもの意見を聴く取り組みを進めているみたいだよ。



知事と 子どもたちの 意見交換

in 河北小学校

2023年4月に「こども基本法」が施行されました。そこには、全てのこどもは、意見が尊重され、こどもの今とこれからにとって最も良いことが優先して考えられること、という基本理念があります。

つまり、子どもたちの声を聴き、それを大事にしながら、子ども施策を進めていくことが必要なのです。そこで、県の達増拓也知事が盛岡市立河北小学校で、地球温暖化対策に関する出前授業を行なった機会に、知事と子どもたちが意見交換を行いました。

「岩手の未来はどうなっているのだろうか?」。子どもたちは岩手の未来をイメージしながら、積極的に知事と意見を交わしました。県は、こうした子どもたちの声をこれからの県政に生かしていきます。



齋藤海優さん
「岩手の未来のことを考えて、家でも地球温暖化対策をやってみたいと思いました」▶



▲知事は、子どもたちの意見を真剣に聴き、分かりやすい言葉で質問に答えていました



「温暖化が進んだら、僕たちがやりたい仕事はどうなってしまうのですか?」と質問した高橋理人さん▶



県内各地で子どもが暮らしやすい社会の実現のために、さまざまな取り組みが進められているよ。次のページで、詳しく見てみよう。

いわての子どもたちが 明るく暮らせる 未来へ!



県は、子どもを育てやすい環境づくりや子どもが安心して過ごせる居場所づくりのための取り組みを進めています。
子どもたちと一緒に、岩手の今と未来を考えてみましょう。

みんなは、自分たちの未来を考えてみたことがありますか? どんな大人になっているのかな。未来の岩手はどうなっているのかな。



やっぱり、誰でも子どもを安心して育てられること、そして、何よりも子どもが幸せに育つことが一番だね。そのためには、例えば、こんなことが必要なんじゃないかな。



まだ先のことから分らないけど、働いて、結婚して、それから子どもが生まれるかもしれないね。

1



安心して出産でき、子どもを健やかに育てることのできる環境づくり

2



子どもたちが明るく、楽しく過ごせる環境や居場所づくり

そうだね。大人になって、結婚するかもしれないし、子どもも生まれるかもしれない。みんながお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんになっても、安心して暮らせる岩手がいいね。



みんなが明るく、安心して暮らせる岩手にするためにはどうすればいいのかな?



なるほど。じゃあ岩手ではどんな取り組みをしているんだろう。もっと詳しく知りたいな。

いわてでの子育てを 応援しています

県は、第2子以降の3歳未満の子どもの保育料の無償化や在宅で子育てをする世帯への支援を行う市町村への補助など、県独自の全国トップレベルの子育て支援の取り組みを進めています。

いわて子育て応援保育料無償化事業費補助

国の制度で幼児教育・保育の無償化の対象とならない第2子以降の3歳未満の子どもについて、保育料を無償化している市町村に対し補助を行っています。

	国の制度 (幼児教育・保育の無償化)	国の制度 + 岩手県の事業	
		第1子	第2子以降
5歳	無償化 保育料がかかりません	無償化 保育料がかかりません	無償化 保育料がかかりません
3歳			
0歳			
	保育料がかかります ・住民税非課税世帯は無償・保育所等を利用する最年長の子どもの第1子と数えて、第2子は半額、第3子以降は無償	保育料がかかります 住民税非課税世帯は無償	無償化 所得制限はなしで、保育料を徴収しません

←第2子以降の所得制限なしでの無償化は、「全国で2事例目」

いわて子育て応援在宅育児支援金

保育所を利用しない生後2カ月から3歳未満の第2子以降の子どもを養育する世帯を対象に、在宅子育てに係る支援金を支給する市町村に対して補助しています。(事業の実施の有無は、市町村にご確認ください。)

補助率 県 $\frac{1}{2}$ 市町村 $\frac{1}{2}$ (子1人当たり月額10,000円)
※育児休業給付金受給世帯を除く

↑都道府県レベルで所得制限なしでの無償化は、「全国で2事例目」

他にはこんな事業も

出産時の経済的負担軽減のため、次の事業を実施。
(市町村によっていずれの事業を実施するかが異なります。)

● 出産・子育て応援給付金

妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円相当を給付

● 岩手県出産・子育てギフト「OBOCCO」
産後、希望を持って子育てをスタートできるよう子育てに必要なギフトを届けます。(10万円分)

岩手県出産・子育て応援事業
OBOCCO
ベビーギフト



みんなおいでよ たくさんあるよ 子どもの居場所

県は、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを進めています。

雨や雪の日でも遊べる屋内の遊び場や、放課後を安心して過ごすことができる場所、地域のみんなと一緒に温かいご飯が食べられる子ども食堂などを紹介します。

とびあ子ども木の空間木製遊具 TOMOK

(遠野市新穀町1-11遠野ショッピングセンターとびあ内)

遠野ショッピングセンターとびあの中に、10月5日にオープン。県産木材を使用した温もりある木の大型遊具です。3歳から12歳までを対象とした屋内の遊び場で、すべり台やボルダリングなどで思う存分からだを動かして遊べます。大人と一緒に来場しましょう。

【ご利用情報】一般開放は水・木は午後2時から午後5時まで、土・日祝日は午前10時から午後4時まで。その他、平日に予約制で団体での利用も受け付けています。利用は無料。

温もりある木の遊具で
思いっきり遊ぼう



たくさんあるよ

子ども食堂

にこにこ食堂

ざしきわらしの家 (二戸市内)

2022年、県北地域で初の子ども食堂としてスタート。すべての人に温かい食事と第3の居場所を提供したいという思いで、3カ月に1回のペースで活動しています。開催場所は、金田一コミュニティセンター「アツマランカ」や、堀野「生きいき交流センター」など二戸市内。メニューは、「食の匠」の指導のもと、地域の人たちが作ります。食堂には、子どもたちや親世代、おじいちゃん、おばあちゃんたちが集まり、地元の旬の食材を使った郷土の味をみんなで一緒にいただきます。

あったかいご飯を
みんなで食べよう!



▲取材の日は菜彩鶏のチキンカツ、卵焼き、ブルーのコンポート。タルタルソースには雑穀入り。地産地消メニューでした。



▲高校生ボランティアや地域の皆さんと一緒にいただきます

寄り処 たすけ

(盛岡市松園2-12-11)



▲寄り処たすけのママこと松本まゆみさん(左)と小川晃子さん(中央)。スタッフ、ボランティアの皆さんと。

▲閉店した寿司屋をそのまま活用。寿司桶は駄菓子入れに。さまざまな年齢の子どもたちが楽しく過ごします。

盛岡市松園地区の閉店したお寿司屋さんをそのまま活用した子ども食堂「寄り処たすけ」は、共働き世帯や一人暮らしの高齢者が増えている時代に、地域と子どものために居場所づくりをしようと、有限会社まごのてが休眠預金を活用した事業の助成を受け、2024年7月にオープンしました。月曜から金曜の午後1時から6時まで利用でき、さまざまな年齢の子どもたちが集まって一緒に遊んでいます。子どもだけでなく大人も利用できるみんなの居場所。夕飯は午後4時半から(子ども100円、大人300円)手作りのご飯を提供しています。「寄り処たすけ」は未来ある子どもたちを温かい目で見守っています。

● 子ども食堂はほかにもたくさんあります。こちらをご覧ください。こどもの居場所ネットワークいわて <http://kodomo-net-iwate.jp>



田村 瑠さん
たむら りゅう
矢巾町出身。岩手県立産業技術短期大学校卒業。自動車部品製造業を経て、2021年4月アロニア商品の小売業スタート。2023年7月合同会社設立。自社農園と盛岡発のアロニアブランド「SOME(ソーム)」を立ち上げ、アロニアの魅力を発信している。



ナシテ？ イワテ

ダガラ！ イワテ

岩手で暮らしたい、岩手で働きたい、岩手に帰りたい、県外にいても岩手とつながりたい。
さまざまな形で岩手を選んだ方に、なぜ岩手を選んだのか聞いてみました。

岩手に根を張りながら
地域の活性化と
アロニアの発信に挑戦

盛岡市中心部から南東へ20km離れた砂子沢地区でアロニア農園を営む田村瑠さん。ベリーの一種で栄養価の高い食材として知られているアロニアを、生産から加工品販売・PRまで一貫して行い、地域の特産品として広めようと情熱を注いでいます。

前職を退職し、「自分にしかできない何かで地域に貢献したい」と模索していたところ、アロニア生産者と出会ったという田村さん。「高齢化により栽培の継続が困難だという砂子沢地区の厳しい現状を知り、アロニアを広めることで集落に何か変化をもたらしたいと思いました。自分が必要とされているという実感がありません」と話します。生産者と出会って間もない2021年4月、田村さんは「盛岡アロニア同盟」を立ち上げ、さらなるアロニアの価値を生み出そうと仲間と日々切磋琢磨しています。初めて砂子沢を訪れた際、タイムスリップしたような田園



岩手県公式
Facebook
ページ
「いわてのわ」

「いわてのわ」は、「いわてが好き。」あなたとつながるページです。県内トピックや岩手で活躍する方々の紹介など、皆さんと「わ」が広がるきっかけをお届けしています。



風景に心揺さぶられたという田村さん。「風土も人も、やっぱり岩手が心地いいと実感しています。岩手には、地道にいいものを作ろうという底力があるの、そういう自慢すべきところも県外に伝えていきたいです」。アロニアの需要拡大に向けて、田村さんの挑戦は続きます。



選別まですべて手作業で行っています

インタビュー
動画を
サイトで
公開中

いわてグラフ専用サイト



アンケートに答えてプレゼントをもらおう!

1. 記事は分かりやすかったですか? (番号で回答)
1非常に分かりやすい **2**分かりやすい **3**普通 **4**分かりにくい **5**非常に分かりにくい
※ **4**または**5**の方は、どのような点が分かりにくかったかお書きください。
2. 今回の企画で興味を持ったものは何ですか?
3. 県政で興味があるものは何ですか? (番号で回答)
1産業 **2**医療・福祉 **3**防災 **4**教育・文化 **5**環境 **6**社会資本整備 **7**その他(関心のあるものをお書きください)
4. 本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

A アロニアまるしばり 110ml
◎盛岡アロニア同盟
090-5844-0006



収穫したばかりの盛岡産のアロニア100%ジュースです。炭酸水で割ったりヨーグルトにかけてどうぞ。

B メルベジプラス ジュース 180ml
◎キートスファーム
019-613-9833



糖度10〜13度のミニトマト「プレミアム ミニ(赤)」と「スイート イエロー(黄)」の濃厚トマトジュース。P9「いわて黄金のマリアージュ」のレシピをお試しください。

アンケートにお答えいただいた皆さまの中から抽選で合計7名様にプレゼント!

住所・氏名・年齢・職業・電話番号・ご希望の商品のアルファベット記号(A・Bいずれか)をお書きの上、ハガキ、FAX、電子メール、または右の二次元コードを読み込んで、応募フォームからご応募ください。■送り先／◎ハガキ:〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課「いわてグラフ12月号・読者アンケート」係 ◎FAX:019-651-4865 ◎電子メール:kouhou@pref.iwate.jp ■応募締切／2025年1月10日(金)必着 ■当選発表／商品の発送(2月上旬頃)をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。

